



# 浜松十字の園 ぶどう畑 (別報No.4)

2024年  
秋号

発行／浜松十字の園  
〒431-1304 浜松市浜名区  
細江町中川 7220-11  
TEL 053-436-9535  
FAX 053-437-1352

## ☆☆ 浜松十字の園リニューアル計画 ☆☆ 広報

### 『浜松十字の園のさつき棟の改築（第1期）を計画しています』

#### 改築説明会の実施報告

9月26日(木)と9月28日(土)に同じ内容でご利用者・ご家族の皆様に対し、改築説明会を行ないました。2日間で63名のご家族にご参加いただき、改築工事の概要説明と合わせて、改築に向けた私たちの熱意や思いもお伝え出来たように思います。

#### 【説明会の主な内容】

#### 1. 浜松十字の園改築工事の概要について

これまでに本誌でも掲載してきた通り、1974(昭和49)年に建設された「さつき棟」を解体し、その跡地に40床の全室個室のユニット型介護老人福祉施設と厨房や地域交流ホールを開設します。

説明会では工事の概要や現況写真を通して、改築が必要であることをご説明いたしました。また、改築後の施設について、ご利用者のプライバシーを確保することや、職員にとって働きやすい職場環境を築くことなど新しい建物のコンセプトなどお話ししました。

#### 地下平面図



#### 1階・2階平面図



#### 2. 従来型の介護老人福祉施設とユニット型の介護老人福祉施設の違い

従来型とユニット型の施設の違いとして、①生活の単位と生活環境・居室の違い。それによる②利用料金の違い。主にこの二つについてご説明いたしました。

#### ① 生活の単位と生活環境・居室の違い

生活の単位とは、1ユニットの利用者の人数です。1人1人の生活に合わせて支援するためには、職員1人が常に状態を把握できる人数は限られているため、少人数の生活の単位(ユニット)を設定することが望ましいとされています。

#### (生活単位・職員配置の例)



例えば、30人の利用者に対して12人の職員を配置する場合と比べ、10人の利用者に対して4人の職員を配置した方が、お互いにとってより馴染みの関係が築きやすくなります。

ユニット型の生活環境は、10人の生活単位ごとに居間や台所が整備され、お部屋は個室でプライバシーが確保できるなどの違いがあります。

現在、従来型については、殆どが4人部屋となりますが、いずれは従来型の居住環境の改善にも取り組んで参りたいと考えております。

#### ② 利用料金の違い

利用料金は、主に居室環境の違いから、基準費用額が多床室の場合は、1日915円なのに対し、ユニット型個室は1日2,066円になります。

負担軽減の対象となる方については、それぞれの段階に応じて負担限度額が定められており負担が軽減されます。詳細は次ページをご参照ください。

## 利用料金の違い

主に居住費の違いがあります。  
要介護3 1カ月30日の場合

		従来型(80床)	ユニット型(40床)	差額
介護保険料		28,657円	31,868円	3,563円
食費		43,350円	43,350円	0円
居住費		27,450円	61,980円	34,530円
合計		99,457円	137,198円	38,093円
負担限度額	第1段階	37,657円	67,268円	29,963円
	第2段階	53,257円	69,968円	17,063円
	第3段階①	61,057円	92,468円	31,763円
	第3段階②	82,357円	113,768円	31,768円

食費は変わらないです。

居住費は多床室と個室の違いから1日あたり1,151円の差額が生じます。

15

※負担限度額とは、所得によって食費と居住費が軽減される補足給付によって、負担が軽減される制度です。基準費用額(1日あたり食費は1,445円、居住費は多床室が915円、ユニット型居室が2,066円で、各負担限度額との差額が介護保険から特定入所者生活介護サービスとして給付されます。

### 3. 今後のスケジュールと意向調査の実施について

2026年12月から施設サービスが、従来型の介護老人福祉施設とユニット型の介護老人福祉施設とに分かれることとなります。その為、開設までは、まだ間がありますが、利用調整等を徐々に行なっていきたく、どちらの施設サービスを利用したいか、事前にご利用者、ご家族の皆様のご意向を確認するため調査を実施いたします。調査の対象は、さつき棟、本館棟のすべてのご利用者、ご家族の皆様となります。

#### 今後のスケジュール

【第1期工事】	
2024年9月～11月	改築説明会⇒施設サービス利用意向調査
2024年11月頃	改築中の施設利用について個別説明と意向調査
2025年5月	入札、業者決定 工事着工(解体工事、基礎、建築工事)
2026年11月	厨房機器設置 厨房移行(本体施設から新棟へ移行)
2026年12月中旬	さつき棟検査引き渡し 入所者引越し
2027年1月	本体施設玄関、事務所等改修工事(既存第1期改修工事)
2027年3月	完成

【第2期工事】
2027年4月以降(改修内容及び時期等は現時点では未定)

#### <現在>

従来型の介護老人福祉施設  
定員120床

#### <改築後>

ユニット型の介護老人福祉施設  
定員40床

従来型の介護老人福祉施設  
定員80床

#### 【改築中の施設利用について】

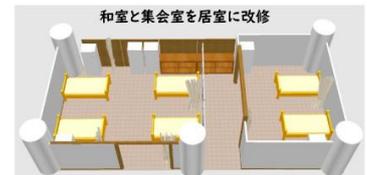
また、改築中の施設利用については、本館棟のみでの利用になるため、さつき棟の18床分の居室を本館棟内に整備する予定です。その為、現在さつき棟にご入居されているご利用者の方には、個別にご説明とご意向等をお伺い、調整をさせていただきます。

#### 改築中の施設利用について

改築中は、ご入居されている皆さんに本館棟で生活していただきます。

- さつき棟 18床
- ①本館棟内のショートステイの居室 4床
  - ②2人部屋を現在個室で使用している居室を2人部屋で使用 2床
  - ③西食堂を居室に改修 3床
  - ④和室を居室に改修 2床
  - ⑤集会室を居室に改修 4床
  - ⑥静養室を居室に改修 2床
  - ⑦サンルームを居室に改修 1床

2024年11月頃～  
個別にご説明、ご意向等  
をお伺いし、ご相談して  
いきます。



#### 「始まりを告げる響き」

先日、基礎を据えるための地質調査が行われ、杭を打つ音がカーン・カーンと響きました。いよいよ動き始めた期待と、さつき棟が無くなる寂しさがありました。ご利用者と先達が紡いだ温かな物語は、形を変えて続きます。手渡された物語が、これからも喜びに満たされるよう努め歩んで参ります。

理事長 鈴木 淳司